

# JAAS News 第157号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2012年7月18日

＜ もくじ ＞	
1. 2012年度総会・大会報告	1
2. 本年度連続講座『後悔しない終活のために』参加者募集開始	1
3. 研究会からのお知らせ	2
4. リレートーク『日に新た』第4回	3
5. シニア社会学会からのお知らせ	3
6. 訃報（初代事務局長・守永英輔氏ご逝去）	3

## 1. 2012年度総会・大会報告

2012年度シニア社会学会総会・第11回大会が2012年6月30日(土)にお茶の水女子大学において開催されました。

### (1) 2012年度総会

総会では、大島理事の議事進行のもと、学会の活動状況、財政状況等の報告、新たな活動を展開していくことの必要性を、参加者全員で共有しました。審議の結果、議案は全て満場一致で承認されました。

### (2) 第11回大会

総会終了後小休憩のあと、第11回大会に移り、学会の事業報告として、独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「ICTによる高齢者孤立防止モデル普及事業」について、森やす子理事から報告がなされました。昼食休憩のあと、基調講演「東日本大震災と地域再生」のテーマで佐藤滋・早稲田大学理工学術院教授からお話がありました。そのあと、「震災とまちづくり～今、私たちに何ができるか」のテーマでパネルディスカッションが行われ、大会は16時30分に終了し、あと会場を変え懇親交流会が行われ全日程を終了しました。（詳細は次号以降で）



## 2. 本年度連続講座『後悔しない終活のために』参加者募集開始

本年（2012年度）の連続講座について参加者の募集を開始いたします。参加は各回ごとに自由にお選びいただけます。従来と同様、6回全講座の一括申し込みも割引参加費にてお受けします。

ホームページでも随時お知らせしますのでご参照ください。お申し込みもできます。

《 2012年度 シニア社会学会・連続講座参加者募集（ケーキ、コーヒーor紅茶付き） 》

(1) 全体テーマ：『後悔しない終活のために』

各回テーマと講師

- ・第1回 2012年 9月29日(土)「悔いのない老後の経済設計」(牛島信治)
- ・第2回 2012年10月 6日(土)「最期まで暮らせる家」(天野 彰)
- ・第3回 2012年11月10日(土)「介護が必要になったら」(望月幸代)
- ・第4回 2012年12月 8日(土)「最後まで自分らしく生きるために  
～私の生き方ノートを活用して」(渡辺敏恵)
- ・第5回 2013年 1月26日(土)「安心の遺言書」(加藤 隆)
- ・第6回 2013年 2月23日(土)「その人らしい葬儀と墓」(荒井浩道)

(2) 場 所 : 東京銀座・資生堂 9Fホール

(3) 開催要領 : 各回とも、14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2,500円、非会員3,000円。

6回分一括前納の場合、会員12,000円、非会員15,000円。

(参加証を発行いたします)

(一括前納の申し込みは、9月21日(金)までの受け付けとなります)

※お申し込みは、①氏名、②参加の講座、③連絡先を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※参加費は、当日、会場にてお支払いください。

(6回分一括前納は事前のお振込をお願いします)

※今後とも各回ごとにJAAS Newsなどで随時お知らせいたしますので、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。(事務局担当 鈴木)

### 3. 研究会からのお知らせ

#### ◆第59回社会保障研究会報告

1) 日時: 2012年5月24日(木)

2) 場所: 高齢者生活協同組合会議室

3) 講師: 大西友弘氏(内閣府社会保障改革担当室企画官)

4) テーマ: 社会保障と税の一体改革

少子高齢化の進展、家族の変化、経済の低成長などの急激な変化に直面する今日、社会保障制度を安定的に持続させるための改革が不可欠である。ワニの口といわれるように、税収と歳出の差は年を追う毎に開いていく。次世代に債務を残さないために財政健全化目標をたて、次世代に負担を先送りしない、安定的財源に基づく社会保障制度を再構築し、現役世代を含めてすべての人がより受益を実感できる社会保障制度の充実をはかるための税制の抜本的改革が必要である。なお、消費税増税による社会保障制度の安定化の可能性について、参加者からは疑念の声があげられた。(林葉子 記)

\*6月の社会保障研究会は、6月30日に当学会総会・大会が開催される関係で休みました。

#### ◆第60回社会保障研究会のお知らせ

1) 日時: 2012年7月26日(木) 18:00~

2) 場所: 高齢者生活協同組合会議室(光文社ビル6F)

3) 講師: 梅澤 嘉一郎氏(当学会会員)

4) テーマ: 災害とソーシャルワーク

お問い合わせ、参加申込は事務局佐藤[fujiko11kasei11ocha@yahoo.co.jp]までご連絡下さい。

#### ◆第5回「シニア社会の正義」研究会開催のご案内

濱口研究会は、新・研究会が5月28日からスタートしました。「21世紀の倫理」をより深く掘り下げることがコンセプトに、マイケル・サンデル著『これからの「正義」の話をしよう』(ハヤカワ文庫版)をたたき台にして、シニア社会の「正義」について語り合い、大きな曲がり角にある、いまの時代の生きかたを探ります。次回の予定は下記のとおりです。多数の方のご参加をお待ちしています。

1) 日 時: 2012年7月20日(金) 16:00~18:00

2) 場 所: 早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室

3) その他: 研究会参加費として300円を徴収させていただきます。

お問い合わせは、事務局・島村までお願いします。

## 4. リレートーク 『日に新た』 第4回

リレートーク第4回目は、会員の佐藤敬氏の「『新老人』の務め」です。

### 『新老人』の務め

今年団塊世代のトップランナーが65歳を迎え高齢者の仲間入りを果たすことになる。新成人ならぬ『新老人』の誕生だ。

団塊の世代といえば、先行のシニア世代との差異ばかりがこれまで強調されてきた。時代のトレンドの旗振り役を担わされ、今に続く若者文化の基盤を築いたとされる彼らだが、実は先行世代とも共通項がたくさんある。たとえば……。

団塊世代の多くは地方で大家族のもとに育った、いわば“最後の農耕民族”。当時は車や電話、それにTVを始めとした多くの家電製品も今のように普及していなかった。そんな暮らしの体験を先行世代と共有しているのである。生まれながらに現代テクノロジーの恩恵に浴してきた後続の世代とはここが大違い。だから高齢者と現役世代双方の言い分がわかり、その仲介役になることができる。

今、原発の存廃について議論が沸騰しているが、脱原発論は必ず「節電生活が受忍できるか」と脅される。でも大丈夫。そんな生活は今のシニアが経験済み、それなりの幸せがあった。だからまたそうなったって楽しく暮らしていけるはず。

先行のシニア世代がそんなことを言っても、若い世代にとってはまるで『日本昔話』の世界で実感が湧かないだろう。でも日頃は若ぶっている団塊世代がその語り部になれば、彼らも多少は安心・納得し、脱原発の意志を固めてくれるかもしれない。

こんなことも、私も含めた『新老人』の務めになるのではないだろうか。

## 5. シニア社会学会からのお知らせ

### 1. 原稿の募集

リレートーク『日に新た』、地域活動報告『つながろう！つなげよう！広げよう！』の原稿を自薦・他薦を問わず広く募集します。詳細は事務局までお問い合わせください。皆さまからのご応募をお待ちしています。

### 2. 「エイジレスフォーラム」第10号送付

去る6月30日当学会総会・大会に欠席された会員のみなさまに「エイジレスフォーラム」第10号を近日中にお送りします。万一7月末までに届かなかった場合、事務局までその旨ご一報くださいますようお願いいたします。

## 6. 訃報（初代事務局長・守永英輔氏ご逝去）

シニア社会学会の立ち上げにご尽力され、初代事務局長（現理事）として多大な貢献をされました守永英輔さんが、脳梗塞で療養中のところ、6月20日未明 誤嚥性肺炎にて死去されました。（享年77歳）謹んでお知らせいたしますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

ご葬儀等は藤沢市の和田湘南斎場にて6月21日・22日に執り行われました。

喪主は、妻・守永ます彥様、シニア社会学会として供花1対をお供えいたしました。

以上